

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	ひまり園				公表日	2026年 2月 16日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係が適切であるか。	4		・親子通園なので全出席の時は手狭な感じもあるが、活動を工夫しながら動線を作るなど行っている ・狭く感じる事もあるかもしれないが、遊び方や道具の配置など工夫している	・これからも、教室での活動で狭く感じる時は、遊び方や道具の配置などを工夫するようにしていきます
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4		・クラスの人数によって変動するなど、配置人数の確保はできている ・その日の利用状況に応じ、必要な所へ職員が配置できるような、柔軟に対応している ・職員間で連携しながら頑張っている	・全体を見ながら、職員間の連携をとり環境を整えていきます ・職員の配置数は適切ですが、やむをえない状況もありますので、職員間の連携を密にして対応できるように努めます
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4		・個人のマークを作るなどでこども自身がわかるような工夫をしている ・手洗い、トイレなど子どもの使いやすい設備だと思ふ。靴の着脱が子ども自身でやりやすいようにベンチを設置している ・子どもたち、保護者にもわかりやすい活動の動線を視覚的にもわかるように黒板に書いたり、マークなどで工夫している	・活動内容によっては教室が変わることもあるので、分かりやすさを作っていくためにも、1ヶ月は同じ活動を繰り返していきます ・子どもたちにとって、分かりやすい生活空間が作れるように、これからも工夫していきます
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4		・毎月の掃除、物の整理を行っている ・清掃は毎日職員全員で行い、週末はより細かい清掃を意識している ・毎日朝と活動後に掃除している。遊びの空間の工夫等職員間で話し合いながらしている ・道具を出しすぎないよう、また子どもたちの気が散らないよう配慮している	・感染症のこともあり、特に消毒は徹底して行うようにしていきます
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4		・気持ちが崩れた時や集団に入りにくい場面では個別に対応しながら場所を変えたり分けるなど行っている ・子どもさんの状況に応じ個別の方がよいと思われた時には臨機応変に空いている部屋を利用して個別な関わりを行っている ・廊下やホール、空き教室をクールダウンに利用している	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4		・職員間でできる限り気づいた時に共有しふりかえりも意識し合って行うようにしている ・朝礼・終礼、指導者会議、職員会議、クラス会議等で指導の振り返り、改善などを共有している	・日々の業務を振り返る中で、改善できることを全職員で考える機会を設けていきます
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		・毎年行い、意向などを職員で共有し改善につなげている ・評価を実施して、保護者からの意見を職員間で共有して改善できるようにしている	・保護者からの評価をもとに、改善できることは早急に取り組んでいきます
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		・会議だけでなく日頃から気づいたことを共有し、改善案などを出し合って修正している ・終礼、学習会、クラス会議など職員全体やクラスごとなどで、それぞれの意見を出し合える場があり、その都度話し合いながら日々の業務に反映している ・様々な会議、朝礼、終礼で意見を出し合える環境がある	・職員の意見等は定期的に面談や会議を実施しており、全員で検討したうえで、改善出来ることは早急に取り組んでいきます
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	3		・外部評価を受けていませんが、より良い支援ができるように、今後必要であれば考えていきます
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4		・研修や講演会の参加機会はあり、業務に生かすように心がけている ・研修の機会があれば職員を積極的に参加させてもらっている。全員が難しい場合も報告の機会を設けている	・研修の機会があれば積極的に参加し、園内での研修報告を実施し、職員間の共有を図っています。今後も続けていながら資質向上につなげていきます
適切	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4		・個別支援計画や活動の意図についての園だより、また、おしゃべり会や個別懇談などで伝え周知に努めている ・ホームページに掲載しており、カラフルでわかりやすくしている	・支援プログラムの公表はしていますが、今後は見直ししながら充実させていきたいと考えています
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	4		・子どもの様子や保護者の思いなど職員間で共有し話し合いながら作成している ・個別懇談で子どもの様子や課題など保護者のニーズも含めて話し合い、計画、作成している	・保護者の思いや本児の課題などが明確になっている支援計画の作成に取り組みます。また、保護者には丁寧な説明が出来るように努めます ・保護者からの聞き取りや個別面談、日々の状況等をもとに、より分かりやすい個別支援計画の作成に努めます
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4		・日々の療育の中で気づいたことなどはその日のうちにできるだけ共有するようし、共通理解に努めている ・クラス会議や終礼などで子どもの実態を把握、共有できるように努めている	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4		・クラス会議や終礼の時のケース検討などでも共有している ・職員間で共有し、検討出来る様にクラス会議などで振り返る様努めている ・支援計画は職員間で共有し、計画を元に遊びや生活を考えられている	・発達検査、子どもたちのアセスメント、保護者との懇談等を通して、児童発達支援管理責任者を中心に個別支援計画の内容について確認をしています ・より良い支援ができるように、また、計画だけに終わらないように、日々職員間で 検討を重ねていきます
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	2	2	・ツールを用いることはないがアセスメントは複数人で共有しながら行っている	・発達の状況を把握するために、発達検査を実施し支援の明確化を図っています。アセスメントツールは使用していませんが、日々の状況を的確に把握していけるように、会議・朝礼・終礼等での共有を大切にしています
16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4		・適切に設定できるように努めている ・5領域で支援計画を見直し、検討し保護者にわかりやすいように具体的に記入する様努めている	・これからも、子どもたちの状況・保護者の方々の思いをしっかりと聞きながら、具体的に分かりやすい個別支援計画を立て、丁寧に説明していきます	

な 支 援 の 提 供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4		<ul style="list-style-type: none"> ・クラス会議でクラス職員と検討し、指導者会議でも共有し、検討を重ねている ・クラス会議を設けクラス、子どもの実態を踏まえ立案している 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちが、見通しをもちながら楽しめるように、だいたい1カ月間ぐらいは同じ活動のプログラムにしています。子どもたちの様子に応じて、変化を加え工夫をしています ・活動内容やねらいなども含め、園だよりやおしゃべり会等で分かりやすく保護者の方々にも伝えていきます
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4		<ul style="list-style-type: none"> ・ひとつきごとに活動を変えている。同じあそびでもねらいや意図によっては変化を加えながら工夫している ・子どもの反応、クラスの状況に応じプログラムに変化を加えたりより意欲的に参加できるように意識している 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちが興味を持っていることも活動に取り入れながら、楽しさに繋げていきます ・子どもたちの状況に合わせながら、その都度変化を加えたり工夫していけるように考えていきます
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	4		<ul style="list-style-type: none"> ・クッキングや制作などで個別に活動することもあるが、集団を意識できることを大事にしている ・子どもの状況により個別対応が必要な時には柔軟に対応している。また、専門的支援も活用し、計画的にも取り組んでいる 	<ul style="list-style-type: none"> ・親子通園なので、集団の中での姿を保護者の方々も確認しあい、必要な支援を考えていきます
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4		<ul style="list-style-type: none"> ・クラスチームだけでなく、朝礼でも全体で共有している ・月案を作成し、活動の意図、役割は確認しているが、その日ごとの打ち合わせは行っている ・活動の流れや役割を確認し、打ち合わせを行っている 	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の子どもたちの様子や、状況などを綿密に報告し合い共有していきます ・子どもたちへの対応、関わり、評価などについても定期的な会議を設定し、支援内容や取り組みについて意見を出し合い検討していきます
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4		<ul style="list-style-type: none"> ・毎回振り返りをするのは不可能だが、気づいた時にはその都度それぞれに発信し共有している ・勤務時間の関係でその日のうちに難しいこともあるが、時間をみつけ振り返りや改善を話せるよう努めている ・午後クラスの準備などでクラス間で共有するのは難しい時がある。終礼でケースを出し合い、振り返っている 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日の終礼で、その日の支援について振り返りを行い、気づきを職員全員で共有しています ・終礼では、職員から毎日1人のケースを出し、検討したり報告し合っています。明日からの支援に繋がっていきけるようにと考えています
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4		<ul style="list-style-type: none"> ・記録は大事にしており、日々行っている ・日々の支援の記録を半年ごとの総括につなげ、支援の振り返りや改善を意識している 	<ul style="list-style-type: none"> ・記録を取るにあたっては、個々の子どもたちの状況をクラス・全体で共有しながら記録できているかどうか、今一度確認していきます
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4		<ul style="list-style-type: none"> ・計画は半年に1度のペースでモニタリングを行っており、保護者と共有しながらすすめている ・日々の懇談も定期的なモニタリングで子どもの思いを共有できるように取り組んでいる 	<ul style="list-style-type: none"> ・個々の目標に対して、多角的な視点で話し合いをし、モニタリングを行ってから個別支援計画の見直しをしています
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3	1	<ul style="list-style-type: none"> ・会議自体は少なく把握できている。児発管が参加している 	<ul style="list-style-type: none"> ・一人ひとりの状況を、担当者と会議できることは大切な時間と考えています。今後も、必要に応じて参加していきます
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	1	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて電話や対面での連携を随時行っている 	<ul style="list-style-type: none"> ・各関係機関との連携を大切に、支援の充実に繋げていきたいと考えています ・自立支援協議会の作業部会に参加している職員からの情報を共有しあっています
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4		<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じてできるだけ連携をとるようにしている。また、相互理解に努めている。 ・今年度より懇話会も企画、実施し、支援の内容を共有している 	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4		<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の希望があれば行っていく 	<ul style="list-style-type: none"> ・移行支援の必要性が出て来た場合は、情報共有していきます ・必要性や要請があれば、小学校とも情報共有し連携を図っていきます ・小学校との情報共有は、事業所からも行いますが保護者からの依頼の中で行っています
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	2	2	<ul style="list-style-type: none"> ・研修会に参加させられたり、法人内実地研修で助言をもらったり、会議に法人内の統括園長に参加いただき、助言をもらっている 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童発達支援センターへの入園が決まった子どもたちの引き継ぎを行い、これからも支援の繋がりを作っていきます。 ・他の事業所、センターへも見学・研修等にも参加し学びを積み重ねている所です
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		4	<ul style="list-style-type: none"> ・併行通園の子が多いが、ひまり園自体での交流はない 	<ul style="list-style-type: none"> ・併行通園の子も多いので特に園からの交流はしていません。今後行う予定はありません
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4		<ul style="list-style-type: none"> ・併行通園の子が多いが、ひまり園自体での交流はない。毎回気づきを伝えるようにしており、また保護者が感じていることを聞き取る様になっている ・共通理解を持てる様努力している。子どもの発達、成長についての認識の差を感じている 	<ul style="list-style-type: none"> ・クラスでの活動や子どもの思いなどを、おしゃべり会で振り返ったり、クラスの保護者と一緒に考えあったりしている。これからも、保護者との信頼関係をつくり、共通理解を深めていけるように努めます
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	1	<ul style="list-style-type: none"> ・ペアレントトレーニングに基づく支援は行っていないが、保護者向けの講演会などの情報提供を行っている ・研修は法人全体でも行っており、その都度保護者へ情報提供している。 ・草笛学園主催のペアレントトレーニングのお知らせは掲示して保護者に知らせている 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後は、ペアレントトレーニングについても学びながら、保護者への研修の機会を作っていきます ・卒園児保護者の方の体験談を聞く機会を設け、先輩保護者から学ぶ機会を設けていきます 	
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4		<ul style="list-style-type: none"> ・入園時、入園後説明を行っている 	<ul style="list-style-type: none"> 入園の契約時に行っていますが、時間的な事もあり丁寧に伝えきれっていません。入園後、時間を見計らいながら丁寧な説明をする機会を設けていきます 	

保護者への説明等	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4		・保護者がこどもにどのような事を望んでいるのかを聞き取った上で作成している	日頃から家族の意向や願い等を聞き取るようにしていますが、その都度確認し定期たいと思います
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	4		・説明を行ったうえで同意のサインをもらうようにしている ・目に見える成長は分かりやすいが、そうでない心の成長への気付きを保護者の方に理解してもらえよう努めている	・保護者への説明は、一人ひとりにより丁寧に説明できるように努めます
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4		・日々の中でも話をするようにしているが、1~2か月に1回は懇談を行っている。緊急の希望にも応じ対応している ・懇談予約のカレンダーを作成している。また、急遽の相談にもその都度応じている	・保護者との信頼関係を大切に、これからも、いつでも相談できるような関係づくりを心がけていきます ・個別相談を実施し、必要があれば発達検査もを行い、個々の発達の状況を確認しながら支援につなげていきます
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	1	・保護者会等は設けていないが、親子登園の施設なので毎回顔を合わせている。また、集団での懇談を行うため、交流につながっていると感じている ・保護者会という形はないが、月に1~3回おしゃべり会を設け、保護者同士で話せる場を設けている ・法人主催の人形劇に兄弟児も参加してもらっている	・これからも、おしゃべり会を通して日々の悩みなどを出し合い、思いを共有しながら横の繋がりを作れるようにしていきます ・保護者会等はありませんが、今後もおしゃべり会等に、卒園児の保護者に参加して頂き、悩みを聞いてもらったり、先輩のお母さん方のお話を聞かせてもらうことにより、横のつながりも作っていただけたらと考えています
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4		・そのような場面では、職員配置などすみやかに整え対応している	どんな時も、相談事は迅速に対応できる体制を整えていきます
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4		・月1回の園だよりやブログなどで発信している ・通信、HPでお知らせは行っている。 ・ブログを更新した際は看板にて利用者に周知している	・月に1回は通信を発行していますが、保護者の方に目を通してもらいやすいように内容等を工夫していきます ・親子通園なので、お便り以外にも、ホワイトボードなどを利用して伝達することもあります。伝わり切れていないことがないように気を付けていきます
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4		・気を付けている	・個人情報については、十分注意を払っていますが、今後も職員全体で取り組んでいきます
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4		・絵や文字で伝えるなど工夫している ・個々に応じ分かりやすさを工夫している ・伝わってか確認したり、持ち物や必要事項をホワイトボード、メールなどで繰り返し伝えるようにしている	
44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	2	・招待などはないが地域に向けてのおたよりを発行している	・ひまりだよりを地域に配布し、地域の理解・繋がりを絶やさないようにと考えています	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3	1	・それぞれの訓練は年間計画を立て、実施している。マニュアルについては、置いてある場所を保護者に伝えてはいるが目を通す方は少ない ・いつでも目を通せるように玄関に置いている ・地震訓練、避難訓練を実施している	・マニュアルを作成し、保護者の方々にいつでも閲覧して頂けるようにしています。 ・緊急時の対応として、考えられる訓練を想定して実施していきます ・事業継続計画を策定し、災害時に適切な対応ができるよう取り組みを強化していきます
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4		・訓練を行っている	・午後からや土曜日に通っている方々も、訓練が実施できるように計画を立てていきます
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	3	1	・親子登園なので必要な情報はその都度確認している ・入園時に確認している	・服薬や予防接種についても、聞き取りや書面への記入をお願いして、子どもたちの状況把握がしっかり出来るようにしていきます
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	1	・親子登園なので保護者と確認をしながらすすめている ・調査書に疾病、既往歴を記入いただき、把握している ・クッキングや午後クラスのおやつの際は都度説明している	・おやつを配給しているグループでは、実物を見てもらいながら最新の注意を払いながら対応していきます ・クッキング等の活動がある時は、保護者への聞き取りを十分行います ・おやつやクッキング等の後は、食べこぼしや机・床などに食べ物が残っていないかなどの確認もしっかり行います
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	2	2	・毎月安全点検を実施している	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	1	3	・危険な箇所は保護者と共有している	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4		・終礼等で共有しタイムリーに検討している ・ヒヤリハットの様な事例があった場合は終礼で報告し、状況と適切な対応方法などその都度検討している ・ヒヤリハットは法人内でも共有している	・法人内の事例を共有することで、危険箇所等の知識や判断を豊かにし、対応できるように努めます
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4		・研修、学習会など実施している ・年間計画を立てる際に虐待防止の研修を計画し、研修内容の検討も行っている ・研修、学習を事業所内の職員間だけでなく、法人内でも学んでいる	・研修を受けた職員が、全職員に周知できるように学習会を行っていきます
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	3	1	・支援計画には記載はないが、入園時には必ず伝えていく。また、その都度必要な時は了解を得て行うようにしている ・個別支援計画と併せ、口頭でも説明している（契約時、個別支援計画を渡すとき） ・子どもの安全のためにドアの施錠をすることがあることを保護者へ説明し、理解を求める様にしている	・子どもの状況や場面によっては、安全確保のために鍵をかけてやむを得ず行動や場面を規制することはありますが、その事を契約時には、丁寧に保護者へ説明していきます ・今後も、入園説明会（契約）で説明を丁寧に言い、理解が得られるように努めます